発達支援について(青少年若者課所掌分)

1 若者総合相談センターにおける支援について

(1) 概要

若者とその家族等の悩みや課題を受け止め、社会的自立につなげるための相談支援、フリースペースの提供、人と話すことや集団での活動に慣れるためのセミナー及び地域活動の提供等

(2) 令和6年度実績

- ・新規登録者数 205 名(うち初回面談が保護者のみが 59 名、保護者同伴が 29 名)
- ・延べ相談件数 985 件、フリースペース延べ利用件数 1,739 件
- ・プログラム活動延べ参加者数 911 名(うち、地域活動参加者数 276 名)

(3) 他の支援機関への主なつなぎ先

- ・同行支援 就労移行支援事業所 5 件、自立訓練(生活訓練) 3 件、医療機関 2 件 ほか
- ・支援機関の紹介 315 件

2 若年無業者就労促進事業(若者サポートステーション)における支援について

(1) 概要

働く意欲があるものの、様々な課題により仕事が続かない、又は就労につながらないような若者とその家族等の相談を受け、就労に向けたセミナーや職場体験・実習を通じた就労支援

(2) 令和6年度実績

- ・新規登録者数 108 名（うち初回面談が保護者同伴 6 名）、延べ相談件数 522 件
- ・セミナー等延べ参加者数 429 名、職場体験等参加者数 208 名
- ・進路決定者数 30 名（内訳：正社員 10 名、契約社員 3 名、パート・アルバイト 17 名）

(3) 他の支援機関への主なつなぎ先

- ・就労移行支援事業所 6 件、就労継続支援 A・B 型 2 件、職業能力開発センター 3 件、職業訓練校 1 件

3 発達支援に関する保護者相談の事例

(1) 学校・職場でうまくいかない子どもについての保護者相談

保護者の働きかけにより若者本人が来所し、面談やセミナー等への参加を通じて、発達面での自分の課題に気づき、医療機関等の助言に基づき障害者手帳を取得し、障害者雇用での就労を目指すケース

(2) 軽度の知的障害がある子どもの学校卒業後の進路に関する保護者相談

一般就労か、障害者雇用のどちらを選択するか、という相談で、フルタイムでの就労が困難という医療機関による見立てから、本人の特性に合った障害者雇用を目指し、就労移行支援事業の利用に向けて、まずは本人にサポステの就労向けセミナーの利用を促すケース

4 課題

支援が必要な若者本人に対して、若者支援に関する情報が届きづらい傾向があるため、支援に関する情報の発信方法について、引き続き検討していく必要があること